

科目名	人間と教育 Introduction to Education						
科目担当者	洪山 昌雄 SHIBUYAMA Masao						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [総合教育科目 人間形成] 経営学部・経営学科 [総合教育科目 人間形成]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(6)
授業の概要	<p>○野生児研究（アマラとカマラ、アヴェロンンの森の野生児、カスパー・ハウザー）に関して、再現ドラマ、動画を通して、この研究が残した成果を検証する。</p> <p>○哲学的人間学（シェーラー、ポルトマン、プレスナー、ゲーレン）を通して世界における人間の位置づけを確認する</p> <p>○西洋の近代教育思想（コメニウス、ルソー、ペスタロッチ、フレーベル、ヘルバルト）を概観し、教育にとって何が問題となっているのかを理解する。</p>						
授業の到達目標	<p>①様々な人間観にふれることによって、人間の多様な側面と教育の可能性を理解する。</p> <p>②教育（思想）が直面してきた諸問題を理解し、授業毎のまとめ・質問・発表によって、自分の意見を論理的に伝えることを目指す。</p>						
授業計画・内容	1	オリエンテーション（講義のねらい、内容、評価）					
	2	野生人研究と教育の課題① アマラとカマラ					
	3	野生人研究と教育の課題② アヴェロンンの森の野生人					
	4	野生人研究と教育の課題③ カスパー・ハウザー					
	5	出生形態からみた人間観と教育					
	6	人間学と教育① シェーラーの思想					
	7	人間学と教育② ポルトマン					
	8	人間学と教育③ プレスナー					
	9	人間学と教育④ ゲーレン					
	10	教育思想① コメニウス					
	11	教育思想② ルソーの思想					
	12	教育思想③ ルソーの「エミール」					
	13	教育思想④ ペスタロッチ					
	14	教育思想⑤ フレーベル ヘルバルト					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	毎回前もって授業内容をムードルに貼り出すので予習をし、専門用語の意味はあらかじめ調べておく（毎週2時間程度）。						
授業外学修 (事後学修)	毎回授業後に課せられた質問・課題を提出し、授業内容の要点を整理しておく（毎週2時間程度）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	授業毎の課題 定期試験				30% 70%		② ①
成績評価基準	<p>秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	適宜、資料を配布する。						
参考文献	授業中に適時紹介する。						
その他							